

令和3年度 第2回魚沼市子ども・子育て会議 会議録

1. 日時	令和3年10月1日(金) 14:00～15:30					
2. 会場	魚沼市役所(本庁舎) 3階 303会議室					
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市子ども・子育て会議委員					
	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
	会長	佐藤 茂幸	○	委員	羽鳥 敦子	欠(委任状)
	副会長	目黒 和男	○	〃	中村 奈々恵	○
	委員	南雲 菜美	○	〃	横山 京子	○
	〃	齊藤 聡	○	〃	下村 耕平	○
	〃	加藤 淳	○	〃	櫻井 悦子	欠(委任状)
	〃	中澤 京子	○	〃	高橋 静枝	○
	〃	山本 都子	○	〃	梅田 愛子	○
	〃	清水 明次	○			
事務局(魚沼市教育委員会事務局)						
<ul style="list-style-type: none"> ・教育長:樋口 健一 ・事務局長:吉澤 国明 ・子ども課長:小林 淳 ・子育て支援センター長:星野 隆 ・母子保健係長:五十嵐 雅子 ・保育園幼稚園係長:阿達 文子 ・児童福祉係長:小西 政勝 						
4. 資料 (事前配布)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・魚沼市公立保育園等再編計画(案)及び第二期子ども・子育て支援事業計画の見直しについて ・第二期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて 					資料No.1 資料No.2
5. 会議概要	<p>【要旨のみ】</p> <p>事務局</p> <p>1 開会 定足数の報告 出席委員13名、委任状2名、計15名。半数以上の出席があり、会議成立。</p> <p>教育長</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>議長</p> <p>3 議事 (1) 魚沼市公立保育園等再編計画(案)及び第二期子ども・子育て支援事業計画の見直しについて</p> <p>事務局 (資料No.1について説明)</p>					

	(質問・意見無し)
議長	魚沼市公立保育園等再編計画(案)及び第二期子ども・子育て支援事業計画の見直しについて、異議無しとする。
	(2) 第二期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
事務局	(資料No.2について説明)
委員	放課後子ども教室は、後継団体がいないため休止となっているようだが、受入団体の目途はあるのか。 小学校の余裕教室を使用しての学童は、授業の終了後、すぐに移動ができ非常に良いことだと思う。広神西小学校は、既に学童を小学校内で実施しているが、他の小学校での実施は、どのように考えているのか。 学校と学童の連携について、子どもの欠席情報や終業後の所在把握、クマ出没などの安全対策も含めて情報共有することは非常に大事だと思う。保護者への連携も短時間ではなかなか難しいと思うが、どのような伝達手段を取っているのか。
事務局長	放課後子ども教室は、生涯学習課が担当している。 かつて、NPO法人伝習館がやっていたが、後継者がなく現在は行っていない。今後コミュニティスクールの中で、学校と地域に合ったものがないか模索している。 放課後児童クラブが小学校の余裕教室を使用することについては、学校の空いている場所を使わせてもらうということではなく、今後少子化の中で、学校の空き教室自体を放課後児童クラブとして活用できないか検討したいと考えている。
委員	放課後児童クラブの育成支援の内容についての周知方法で、市報等の紙媒体では見る人は少ないと思うが、SNSやQRコード等の方法で周知する考えはないか。
事務局	一部の放課後児童クラブでは、メールアドレスを登録していただき、緊急時の連絡を送信している。また、学校から配信されるメールでもクマ情報などは流している。 学童でも保育園等のICT化と一緒に情報発信としてSNSも検討していきたいと考えているが、市報の10月10日号では、学童保育の情報についてQRコードを掲載し、新年度の募集を含め内容の周知に取り組んでいる。
委員	小1プロブレムやいじめ、不登校等の様々な問題を「地域型保育事業所」も含めて課題を共有するとあるが、「地域型保育事業所」はどこにあるのか。

事務局長	現在、市内では入広瀬幼稚園の中にある。
議長	第二期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて、異議無しとする。
	(3) ひがし保育園の閉園時期の検討について
事務局	<p>ひがし保育園については、令和6年度に建物の耐用年数が到来するため、市の上位計画である公共施設再編整備計画でも閉園の方針が示されていることから、令和6年度末をもって閉園の予定としている。</p> <p>10月8日から令和4年度の入園募集を開始するが、3歳児が入園した場合は、令和6年度に卒園できることになる。令和5年度以降も募集は続けるが、ひがし保育園では卒園できない可能性がある。建物の耐用年数が到来したからといって、すぐに閉園しなければならないという訳ではないので、今後の入園状況を勘案し、閉園について判断することとしたい。</p> <p>ひがし保育園の園児の保護者には、想定できる不安については、可能な限りケアを行い、今後も丁寧な説明を続けていく。</p>
委員	閉園にあたり、今後の入園児が極端に少なくなってしまう現象が起きないか。
事務局長	<p>10月8日からの園児募集に際し、今後閉園の方向で検討していると示す必要があると考えている。</p> <p>また、過去において、ひかり保育園が閉園した際には、つくし保育園の分園として存続した後に閉園したという事例だが、大きなトラブル等は無かったように記憶している。</p>
委員	ひがし保育園の閉園の方針に伴い、今後、入園者が減っていくと思うが、保護者等が不安を持たないように、上手にケアをしていってほしい。
議長	ひがし保育園の閉園時期の検討について、異議無しとする。
	4 その他
委員	前回会議の会議録で、事務局長の発言に「本来、都市部等の本当に保育園が切迫しているところだと、公募が一般的だが、魚沼市については、全体的にはそういう状態が無かった中で、たんぽぽ保育園が単独で手を挙げた」とあるが、実は、私たちも手を挙げたかった。
事務局長	公立保育園の民営化は、今後進めていきたいと考えているが、その際は、市内の私立

事務局	保育園にも声をかけるようにする。 5 閉 会
-----	-------------------------------